

## 技術のおたずねにこたえて

### 【おたずね】

準防火地域内に建設する住宅で使う窓サッシにはどのような注意が必要ですか。

(K市S夫)

### 【おこたえ】

昨年、「住宅省エネ基準」が12年ぶりに改正され、住宅の高断熱・高气密化が改めて注目されています。道内の住宅用窓サッシは、既に断熱性に富む木製または樹脂サッシが一般化しています。しかし、防火地域、準防火地域の指定がされている都市部の住宅で隣家との間隔が狭い場合、住宅

1993年6月号

の構造は防火上の規制を受け、窓は防火戸としなければなりません。現在、防火戸としての性能と高断熱性を合わせ持つ窓サッシは、木製サッシがアルミと木の複合サッシ以外にはありません。従って、防火安全性と高断熱性が必要とされる場合には、木質系のサッシを利用しなければなりません。

防火戸はドアと窓とに分けられます。防火ドアは、これまでに100タイプ以上製品化されているのに対し、防火窓は十数タイプにとどまり、しかもほとんどが開き窓の仕様となっています。現在、防火木製サッシの規格標準化と共に、様々なタイプの防火サッシ開発が進められています。

(林産試験場 耐久性能科)